

「保育」の原点

ファッション界のパワー

今 現在、世界のファッション界は手頃な価格でトレンドを盛り込んだファストファッションが力を持っているようです。しかし、この頃のファッションは主張することを忘れてるように思います。

ビジネス的には面白いですが、個性が無いように思います。今の若者は元気がない、欲がない、夢がない、というように言われますが、その生き方はまるでファストファッションのようだと言えます。

先日、山本寛齋さんと昼食を一緒にしましたが、寛齋さんの元気は衰えていませんでした。未だにガラガラした



創業当時のブランドロゴのショッピングバッグ

ものを感じました。寛齋さんのプロデュースされる「日本元気プロジェクト」は今年も凄いパワーがあります。今年も北極に行つてこられたそうで、あまりの寒さに体重が15kg減つたと笑つておられました。

1960年から80年にかけて、ファッション界の若者たちは海外を目指しました。高田ケンゾーさんはパリに飛び立ち、三宅一生さんはパリからニューヨークへ、山本耀司さんもパリコレに名乗りを上げました。山本寛齋さんは1971年ロンドンで日本人初となるショーを開催、ロンドンの新聞に山本寛齋さんのフンドシー一枚の写真が載っていたのを思い出します。

ケンゾーさんは現在、パリに住み自分のブランドを売却し、また新たなアプローチでファッションビジネスに取り組んでおられます。以前、パリにあるケンゾーさんのお宅にお邪魔したところがありますが、家のプールでモデルさんが泳いでおられ、ケンゾーさんのお手製の和風スパゲティが最高に美味しかったのを思い出します。まさに海外での成功者という感じがしました。

三宅一生さんは現在もファッションの第一線でガンバつておられますし、山本耀司さんは現在もパリでファッションショーを続けておられます。

今年、アルマーニさんが日本でのファッションショーの為に来日されま

文

葛西得男

text by Tokuo Kasai

した。アルマーニさんは85歳、米国のラルフ・ローレンさんは79歳、イタリアのベネトンさんは84歳です。ファッション業界は元気な老人がいっぱいです。そんなファッション業界を目の当たりにする時、日本の若者たちもファストファッション風ではなく、世界のファッション業界の元気な老人パワーに負けなような元気パワーを発揮して日本を盛り上げて欲しいと願うのです。

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。アップリカ葛西 副社長時代に国連 UNEP 環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

